

縄南中通信



平成27年 1月 8日 発行
2014年度 第9号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校
校長 日比野功

教育活動の重点キーワード

「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

日本一に向かって前進あるのみ！2015年「縄南道」始動！

新年あけましておめでとうございます。2015年（平成27年）がスタートしました。縄手南中学校は2015年も日本一を目指して前進します。新しい年の初めにあたり、もう一度、縄手南中学校が目ざす「縄南道」についてみんなで確認しましょう。縄手南中学校では「人格形成」を重んじています。ある一定の時間をかけ、ある一定の練習を重ねることにより、ある一定の結果を出すことはできます。しかしながら、さらに高いレベルに挑戦する時は必ず「人格」が必要とされるのです。うまく進んでいる時や調子の良い時は当然のこととして、うまくいかない時、なかなか調子に乗れない時にでも投げやりにならないで、着実に前進する必要があります。うまくいかない時、なかなか調子に乗れない時に投げやりになってしまうと、これまでの努力を一瞬にして台無しにしてしまったり、無駄な時間を長く費やしてしまったりしてしまふことがあります。「縄南道」では勝つ時には必ず「勝因」があり、負ける時には必ず「敗因」があると考えています。そして、その「勝因」となる要素は「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」であり、「敗因」となる要素は「いい加減」「てきとう」「だいたい」だと考えています。自分がうまくいかない時でも、なかなか調子に乗れない時でも、投げやりになって雑に物事を進めるのではなく、そんな時こそ一生懸命に、ていねいに、ひたむきに歯をくいしばらなければなりません。つまり自分との闘い、それは「人格」に起因することです。そしてその「勝因」となる要素の中でも、時間のかかるものと今すぐにできることがあります。今すぐにできることとして「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」があります。「縄南道」をどれだけ意識できているかという指標として、学校では生活アンケートの中のいくつかの項目に注目しています。その中に「チャイム着席はできた」「宿題・提出物はきちんとできた」「授業中は私語をしない」「遅刻はしていない」「清掃はまじめにできた」「決まりは守れた」「あいさつはできた」「丁寧な言葉づかいができた」「自分のがんばった」等がありますが、日本一を目指す集団として、きちっと返事ができたり、自らあいさつができたり、自らに気合を入れたり、お互い声をかけあったり、きびきびと行動ができたりすることは当たり前です。逆に、日本一を目指す集団が自分の使う道具を雑に扱ったり、いい加減な言葉使いしかできなかつたり、適当に掃除や後片付けしかできなかつたり、言い訳しかできなかつたり、いつまでもだらだとして結局何もできていなかったりすることはあり得ません。日本一を目指すためには、当たり前のことをレベル高く当たり前に行える縄手南中学校であることを2015年も目指しましょう。

長所を伸ばす人間教育 ～日本ハム「勇翔寮」の木村幸雄さんの指導から～

年末にラジオを聞いていると、プロ野球日本ハムファイターズの若手選手に対する生活面での指導の話が聞こえてきましたので紹介します。日本ハムファイターズでは、入団後高卒5年目まで、大卒2年目までは寮で生活することが義務づけられ、その寮での生活面を指導されているのが木村

幸雄さんというプロ経験のない方です。この寮での木村さんの指導により、日本ハムでは大谷選手や西川選手をはじめ、多くの若手選手が育ってきたそうです。木村さんは最初に寮に来た時、施設はすごく綺麗なのに靴が乱雑に並べられ、ロッカールームも物が散乱していたのが目についたそうです。その前年、5年ぶりにBクラスに沈んだチーム内の空気がその乱れを表していると感じたそうです。木村さんは、「心」「技」「体」の大切さはよく言われることですが、そこにプラス「生活」が重要であるということを選手に伝えたいと感じたそうです。寮長に就任直後の2月のキャンプの際、若手選手に木村さんオリジナルの日記を配布し、「心」「技」「体」「生活」の欄を設け、その項目ごとに一日良かった点や課題を書き込めるようにしたそうです。更に木村さんは、「長期目標設定用紙」を若手選手に配布したそうですが、大谷選手のように一流になる選手は、目標設定が明確で、自分の立てた目標に責任を持っていると話されています。また、寮では起床後、体操、食事を済ませその後に読書を取り入れ、毎日のルーティーンとしたそうです。読書の時間はわずか10分程度だったそうですが、読書に興味が出てきた選手は目標設定を文字に書くことが上達したそうです。木村さんは、「読書の時間は必須」「目標は紙に書いて壁に貼る」「引退後の社会で通用する人間になれ」とし、伸びる選手の共通点として、「社会人としてルールを守れる人間」と話されています。また、「やり切った者に道は開ける。中途半端に終われば次の道でも中途半端にしかできない」と「意識」の大切さを話されています。また、「あの時こんな出会いがあったな」ということが蓄積されれば、それが実を結び結果的に社会に通用する人間になれると話されています。このラジオ番組を聞き、「縄南道」に通じるものがあると感じましたので紹介させていただきました。

クラブ等の主な記録

税の作文 全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催平成26年度中学生 優秀賞 山根伶奈(3年)
社会を明るくする作文 入賞

岡映美利(1年) 黒川萌(1年) 川西寧子(1年) 名嘉珠梨(1年) 奥村のえ(1年) 加藤優美奈(2年)
孫田彩香(3年) 出崎大輝(3年)

剣道 第48回東大阪市総合体育大会

男子団体準優勝(相川大海2年 松田紳吾2年 相川匡海1年 山本壮一郎1年 杉本隼佑1年)
女子団体準優勝Bチーム(中山百恵1年 池野杏美1年 古長里帆1年)

3位Aチーム(海野花果2年 坂元みのり2年 黒岩璃子2年 伊藤詩音2年)

女子個人準優勝 黒岩璃子(2年)、3位 坂元みのり(2年)

陸上 東大阪駅伝

2位(蛭原あゆみ2年 奥村のえ1年 金子実樹2年 大浦千聖2年)

区間賞女子 1区3位 蛭原あゆみ(2年)9' 24" 2区3位 奥村のえ(1年)9' 21"

3区3位 金子実樹(2年)9' 15"

男子1区2位 北西海人(2年)7' 33"

第48回東大阪秋季大会 1500m 2位 植田美夕(3年)6' 17" 33

吹奏楽 東大阪アンサンブルコンテスト

フルート3重奏 銀賞(平山実結2年 佐藤風紗1年 吉田愛実1年)

打楽器4重奏 銀賞(永田優月2年 宮崎菜月2年 正本あすか1年 松本舞1年)

第41回大阪府アンサンブルコンテスト銀賞

(永田優月2年 宮崎菜月2年 正本あすか1年 松本舞1年)

第48回東大阪市中中学生英語まつり参加

伊藤詩音 杉本那奈美 千葉ひかり 村尾結 坂元みのり 高木真奈 福上詩音 福嶋あすか
細川智華 稲葉凜 海野花果 寺川沙希 中山かりん 出雲梨瑚 上田葉月 黒岩璃子(全2年)